

# 七尾市 高齢者の保健事業と介護予防事業等の一体的実施 R6年度実績

一体的実施に取り組むにあたり、令和元年9月から庁内関係課と幾度も検討を重ね、広域とも協議をして令和3年度から本事業を開始した。

市の概況		庁内実施体制	関係団体
人口(R6.4.1現在)	47,350人	関係課3課で連携推進 庁内連絡会 年5回開催(随時)	七尾市医師会、糖尿病患者を助け合う地域連携協議会、地域づくり協議会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、町会連合会、健康まちづくり推進連絡会等  ●第三者による評価 国保連合会の保健事業支援・評価委員会
高齢化率(65歳以上)(R6.4.1現在)	40.0%	●健康推進課 (企画調整、健診、重症化予防事業)	
後期被保険者数(R6.4.1時点)	10,785人	●保険課 (国保、後期高齢者医療保険担当)	
後期高齢者1人あたり医療費(R5)	978,817円 (県 997,002円)	●高齢者支援課 (介護保険、総合支援事業等) ※国保:国民健康保険(医療保険)	
後期高齢者健診受診率(R5)	19.9%	○石川県後期高齢者医療広域連合との協議の場合等 (年4回:①5.23②2.19企画調整担当者意見交換、11.1 一体的実施に関する研修会、12.16協議の場合、)	
日常生活圏域数	6圏域		

健康課題	ハイリスクアプローチ	ポピュレーションアプローチ
<p>・後期高齢者医療費の第1位は、入院・外来とも循環器疾患である。</p> <p>・国保からの健康課題である肥満(BMI25以上の割合)は、継続している。75歳以上29.9%(県26.0%)</p> <p>・骨折や認知症を保有する者の割合は、県より高く、身体的フレイルにつながっている。</p> <p>&lt;認知症&gt;24.9%(県21.7%)</p> <p><b>【取り組みの方向性】</b></p> <p>●ハイリスクアプローチ</p> <p>国保からの継続した健康課題として、主に糖尿病、高血圧等の重症化予防に取り組む。</p> <p>●ポピュレーションアプローチ</p> <p>健康課題である高血圧等の血管疾患について取り組む。フレイル予防は医療専門職(理学療法士等)や地域の関係団体と連携する。</p>	<p>長寿健診受診者(国保健診受診75歳含む)で下記に該当する者(79歳まで)に、保健師等が保健指導を実施</p> <p>●重症化予防(糖尿病性腎症)</p> <p>【対象】①HbA1c7.0%以上</p> <p>【評価指標】①保健指導実施率、②未治療者が医療機関に受診した人数、③HbA1cの変化 等</p> <p>●重症化予防(その他)</p> <p>【対象】①Ⅱ度高血圧以上未治療者、②心房細動未治療者、③eGFR40未満未治療者</p> <p>【評価指標】①保健指導実施率②未治療者が医療機関に受診した人数③血圧の変化(介入前後) 等</p>	<p><b>【地域の通いの場や地区コミュニティセンターで開催】</b></p> <p>6日常生活圏域で実施(6会場)</p> <p>《実施体制》</p> <p>(公社)石川県理学療法士会に再委託</p> <p>●健康教育・健康相談(健康アップ講座)</p> <p>4会場において1会場につき健康アップ講座を2回実施</p> <p>《内容》</p> <p>①血圧測定、握力測定、フレイル質問票、②講話(フレイル予防、栄養・口腔等)、③シルバーリハビリ体操、④個別支援</p> <p>●住民の主体的活動支援(地域活動の担い手支援)</p> <p>2会場において1会場につき1コース(5回)開催</p> <p>《内容》</p> <p>①血圧測定、握力測定、フレイル質問票、②講話(フレイル予防と介護予防、転倒予防、栄養・口腔機能向上、もの忘れ・閉じこもり予防等)、タウンミーティング、③シルバーリハビリ体操</p>

R6年度の取組		対象者数	参加者数	評価指標	状況 (評価結果)
ハイリスクアプローチ	糖尿病性腎病重症化予防	6	4	①保健指導実施率 ②未治療者が医療機関に受診した人数 ③HbA1cの変化 等	①66.7% ②50.0%(医療機関受診者数／保健指導実施者数) ③25.0%(HbA1c維持改善者数／保健指導実施者数)
	その他の生活習慣病等重症化予防	40	34	①保健指導実施率 ②未治療者が医療機関に受診した人数 ③血圧の変化(介入前後) 等	①高血圧84.8%、心房細動83.3%、腎100% ②高血圧46.4%、心房細動60.0%、腎100% ③75.0%(血圧維持改善者数／保健指導実施者数)

課題・今後の展望					
<p>【ハイリスクアプローチ】</p> <p>●重症化予防(糖尿病性腎症)</p> <p>・引き続き、糖尿病未治療者を優先とし、重症化予防に取り組む。また、国保から後期高齢者医療保険に加入後も連続した保健指導を継続するために、糖尿病コントロール不良者を対象に重症化予防に取り組む。</p> <p>●重症化予防(その他)</p> <p>・Ⅱ度高血圧以上、心房細動未治療者は脳梗塞の発症予防として優先して指導を行う必要があり、今後も対象者として抽出し、重症化予防に取り組む。</p> <p>【ポピュレーションアプローチ】</p> <p>全6圏域を(公社)石川県理学療法士会に再委託して実施した。フレイルに関して 低栄養・身体的フレイルに対し、「口腔」に該当する方が多かった。今後通いの場等でも身体の体操のみではなく、参加者同士の会話や口腔体操などを短時間でも取り入れ、フレイルにつながる口腔機能の維持を図る必要がある。住民の主体的活動支援では、講座で得られた知識を実践されている参加者が多く、自身の健康への意識は高まった様子や生活への応用なども参加者同士で共有しており、互助の活動に繋がる様子が伺えた。</p> <p>今後も引き続き、元気な自立した高齢者が地域の担い手となるよう人材育成も含めた取り組みを推進する。</p>					